



表彰式：東京国際フォーラムにて

公益財団法人日本知的障害者福祉協会の平成30年度愛護福祉賞に、社会福祉法人大久保学園理事長の中原強氏が選ばれ、平成30年7月2日～3日に東京国際フォーラムで開催された、平成30年度全国知的障害関係施設長等会議のプログラム冒頭で表彰されました。

この賞は、知的障害福祉の分野で顕著な業績

社会福祉法人 大久保学園
理事長 中原 強氏



大久保学園理事長・中原強氏

を挙げた個人や団体に対して、同協会が年に1回贈呈しているものです。

中原氏は、大久保学園で施設長や法人統括学園長を歴任され、理事や常務理事など、重要な職務を担い、現在は理事長として、知的障害者の福祉向上や関係する職員の育成などに携わっておられます。

平成16年からは、8年間にわたり、千葉県知的障害者福祉協会会長、平成20年からは関東地区知的障害者福祉協会会長を4年間務められました。その間、平成21年11月から平成24年5月までの約2年6か月にわたり、日本知的障害者福祉協会第13代会長として、障害者自立支援法の改正にかかると、まぐるしい制度変革のなかにあつて、各障害関係団体との良好な関係構築や、行政との協議などに精力的に取り組む、知的障害福祉の向上に寄与するとともに日本

「愛護福祉賞受賞」報告

知的障害者福祉協会の発展に多大な貢献をされたことが評価されました。

愛護福祉賞受賞式の日夜には、九段下のホテルグランドパレスにおいて、千葉県知的障害者福祉協会主催の祝賀会が開催され、約150名が祝福に訪れました。その中で、多くの方々から、中原氏の誠実なお人柄や揺るぎない意志と行動力等について、多彩なエピソードを交えて語られ、その都度大きな拍手が沸き起こりました。

平成での愛護福祉賞の受賞は今回が最後となります。特に平成の後半にあたる、平成15年4月に導入された支援費制度の施行により、障害者に関する施策は、従来の措置制度から大きく転換され、その後も再編や改正を経て現在に至っています。このような激動の時代に、法人運営や施設運営、各種福祉事業の拡充、また、日本知的障害者福祉協会の第13代会長として奔走し、重ねた各種の功績は、まさに、平成の最後を飾るに相応しい受賞と言っても過言ではありません。その、愛護福祉賞の受賞に対して、敬意の念を表すとともに、今後のますますのご活躍とご発展を祈念し、報告に代えさせていただきます。

中原先生、この度は栄えある受賞、誠にありがとうございます！

第69号 (二〇一八年八月号)

発行日 平成三十(二〇一八)年八月十日

発行者 里見吉英

編集者 島山正昭・菅谷大輔・秋山直樹

発行所 千葉県知的障害者福祉協会
(本部) 千葉市中央区中央四一四一〇 友美ビル三三B
TEL 〇四三(二二四)五七二一

(事務局) 船橋市金堀町四九九一 大久保学園内
TEL 〇四七(四五七)二四八二

HP <http://www.chibafukuteki.com/>

目次

- 社会福祉法人大久保学園理事長 中原強氏 愛護福祉賞受賞..... 1
- 千葉県知的障害者福祉協会 副会長就任挨拶 佐久間智氏..... 2
- 平成30・31年度千葉県知的障害者福祉協会役員等名簿..... 2
- 「福祉ライブ・カフェ」就聴説明会..... 3
- 新任職員研修に参加して..... 4
- 支援スタッフ部会活動報告..... 5
- 第45回北部地区 手をつなぐ作品展報告..... 5
- 新事業所紹介..... 6
- わが施設の自慢・アヒルポイント..... 7
- 千葉知協トピックス..... 8
- 事務局だより・編集後記..... 8

社会福祉法人 心聖会 小池更生園
施設長 吉村 優児

千葉県知的障害者福祉協会 副会長就任挨拶

この度、4月の総会で平成30・31年度において千葉県協会副会長を仰せつかりました。野栄福祉会の佐久間です。障害者支援施設部会長と兼務になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成16年に協会の理事の末席に加えて頂いてから現在までを振り返りますと、社会も施設をとりまく環境も大きく変わったと思います。制度的には支援費制度、自立支援法、総合支援法・法施行後3年後の見直しと大きな変化が続き、いつときの入所施設否定論・グループホームへの地域移行を経て現在は地域共生社会がキーワードになっていきます。

今はほんやりと実感がわかないかも知れませんが、数年後、10年後には私たちも子ども、高齢者、障害者、その他に福祉サービスが必要とする人に対しての支援を包括的に行う時代が来るのかも知れません。支援費制度が始まる前は現在の状況を予想することができなかったのですから……。ただ制度は変わっていても、知的障害福祉の個別のニーズを大切にして、一人ひとりに合った支援をしていくことは重要だと考えます。



社会的にも東日本大震災以降全国的に大きな地震や災害が続き、施設の防災対策は最重要課題になりました。野栄福祉会では、九十九里浜に近いので、津波対策として、園舎の屋上に避難場所をつくり、避難階段を設置して入所・通所・放課後等デイサービスなどすべての

事業所で真剣に避難訓練を行っています。2年前の衝撃的な津久井やまゆり園事件以降は防犯対策まで求められるようになりました。施設長・管理者は利用者さん、職員の命を守るため、ますます責任が重くなってきたと感じます。

千葉県協会は袖ヶ浦福祉センターの事件以降、以前にもまして虐待防止に取り組み、平成27年度からは強度行動障害支援者養成研修の指定を千葉県から受け、基礎研修修了者は30年6月時点で3,030名を超えました。県内だけでなく他県からも受講するようになっていきます。これは全国に誇っていいことだと思います。

今、会員施設で直近の大きな課題は人材確保だと思っています。これは福祉関係だけの問題ではありませんが、今後人口減少時代が到来し、社会規模が小さくなっていく方向の中で、障害福祉サービスが必要とする人は増えている状況です。個人的には注目され始めている介護ロボットや外国人介護士はコミュニケーションの支援を主とする知的障害の現場にはなじまないように思えます。ただ外国人の中にはかなり長期に日本で暮らしている人もいるので、一概には言えないとは思いますが、一法人の努力では限界があるので協会でもとまる力は大きいと思えます。千葉県協会として県への要望や、国に対する要望等を障害者支援施設部会として意見をまとめ、副会長として会長を支え、微力ではありますが会員の皆さまのお役に立てるよう頑張りたいと思います。今後とも指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人野栄福祉会
しおさいホーム施設長 佐久間 智

平成30・31年度 千葉県知的障害者福祉協会役員等名簿

役員

| | |
|----------|-----------------|
| 会長 | 里見 吉英 (ふる里学舎) |
| 副会長 | 小林 勉 (しもふさ学園) |
| 副会長 | 佐久間 智 (しおさいホーム) |
| 副会長・事務局長 | 千日 清 (大久保学園) |
| 監事 | 白鳥征四朗 (心聖会) |
| 監事 | 佐久間水月 (弁護士) |
| 顧問 | 横山 紀武 (豊四季光風園) |
| 顧問 | 中原 強 (大久保学園) |

部会長

| | |
|------------|--------------------|
| 生産活動就労支援部会 | 鈴木真希子 (のぞみの園) |
| 児童発達支援部会 | 新福麻由美 (桐友学園) |
| 障害者支援施設部会 | 佐久間 智 (しおさいホーム) |
| 日中活動支援部会 | 辰巳 陽治 (たかね園) |
| 相談支援部会 | 大越 将司 (山武みどり学園松尾) |
| 地域支援部会 | 相馬 伸男 (千葉県社会福祉事業団) |
| 支援スタッフ部会 | 鶴岡 秀隆 (ピア宮敷) |

委員長

| | |
|-----------|------------------|
| スポーツ文化委員会 | 藤寄 明 (ひかり学園) |
| 研修委員会 | 小林 勉 (しもふさ学園) |
| 広報委員会 | 畠山 正昭 (中里の家) |
| 調査研究委員会 | 秋本 泰司 (いすみ学園) |
| 権利擁護委員会 | 濱本 典子 (でい・さくさべ) |
| 福利厚生委員会 | 中村 敏久 (上総希望の郷) |
| 政策委員会 | 樋口 敦夫 (上総ゆうゆうの郷) |
| 人材確保特別委員会 | 中村 輝彦 (ピーアンビシヤス) |

千葉県知的障害者福祉協会 「福祉ライブ・カフェ」 就職説明会

平成30年3月11日（平成29年度事業）・5月27日（平成30年度事業）福祉ライブ・カフェを開催しました。

3月11日は東日本大震災の発生した日です。参加された学生や就職希望者、ブース施設職員、協会委員全員で震災時刻に黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りするとともに、震災に対する福祉の思いを共有しました。

この日の集客の内訳は、学生25名・中途希望者17名・関係者20名の結果でした。前回の結果から考えますところまは……進展の一步。集客が最重要ポイントですがご参加いただいたブラス法人施設（40法人）には前回の数字があるだけに感謝致します。……と同時に期待に応える我々委員の励みとなりました。申し込みの数を読めるならまだしも開けて見なければわからない結果は、キツイの一言です。受付開始前の関係者集合時、前回（平成29年11月）の9名の集客結果から反省の中、



就職説明会場

2施設の人事担当より昨年参加者の学生に対して採用が決まったとのこと。嬉しい！
平成30年3月11日の開催スタート時、朗報の中、学生の並ぶ姿がありました。委員の皆さんの安堵した顔が今も脳裏に残っています。ブラス法人の期待に応えたい……一心でした。今年度30年事業5



3氏によるパネルディスカッション

月27日の「福祉ライブ・カフェ」開催に関して、集客の目玉がほしい。委員会の議論の末、役員会の了承を得て参議院議員の「今井絵理子氏」にトークショーを依頼。今井議員も快く受けてくださいました。息子の聴覚障がい公表し、「障がいは個性、不便だけど不幸じゃない」と手話を交えて講演いただき、学生も転職希望者も聞き入っていました。公聴もアンケートによりますと好評でした。議員活動では障がい者問題調査会・発達障がい者の支援のあり方を議論し、現在は、障がい児の教育福祉の在り方に力を入れて活動されています。人材確保対策事業のより一層の拡充のために予算化を切望するところです。その後の今井議員・関東学園大学教授中村氏、担当小澤委員・辻内委員（施設代表として）によるパネルディスカッション等も就職希望者に施設現場の面白さ等、お話しいただき会場も盛り上がりしました。本年度の「福祉ライブ・カフェ」は、千葉県知的障害者福祉協会の重要イベントのひとつとして総会での課題を受け委員も各部会・各施設法人の協力で18名の委員メンバーが選ばれました。委員の活動目標は、第一に集客営業中心です。3月11日は、全国告知、5月27日は、関東地区に絞り告知、千葉県内は訪問営業です。委員は多

くのチラシをもち学生への手渡しを基本としました。学校の理解と協力は様々です。SNSの活用・携帯電話（スマホ）等時代にあった効率営業プラス手渡しによる地道な活動等々、協会活動もされど法人研修と題すれば良い経験・活動でした。結果は、学生38名・転職希望者5名・関係者10名というものでした。イベントの規模からすると集客は三ヶタを期待したいところですが業界の人手不足からすると大事な数字結果です。

その後委員会では、反省会を早々に行い秋には人事・管理担当者を中心とした勉強会の開催、年明け年度末3月には、再び「福祉ライブ・カフェ」の開催を予定しております。

委員会は、企画・調査・営業活動等も再開しております。今後も各法人のご理解とご協力をお願い致します。

千葉県知的障害者福祉協会 役員会（理事会）の指示を受けて人材確保特別委員会におかれましても国・県に対して福祉人材の確保、育成、定着等の総合的な対策の強化を要望する具体例を委員会で今後議論を重ねていきたいと考えています。

人材確保特別委員会 委員長 中村 輝彦



盛り上がる会場



チーバくんも登場

新任職員研修に参加して 6月19〜20日開催

『有意義な研修に感謝』

今回の新任職員研修は、まだ入職二年目で経験も浅く、利用者との関わりも少ない私にとつて、とても有意義なものになりました。

その中でも次にあげる三つは、私自身色々と考えさせられるものがありました。

一つ目は「先輩職員から学ぶ」の演題①で「日銭を稼ぐ気持ちで、仕事をしてもしなくても貰える給料は同じ」です。どこの事業所でも、ほぼ毎日決まったことをすれば、その他に利用者と関わらなくても給料は貰えてしまうという話の後に、福祉の専門職として、利用者一人ひとりとしつかり向き合い、尚且つその後ろにはご家族の方々がいらっしやることを忘れてはならない、という内容のお話です。私は改めて保護者の方々の利用者への想い、そして利用者ご本人の「声なき声」を感じ取る力を福祉専門職として養い、一人ひとりの夢や希望に対し、真正面から受け止められるような心構えと関係づくりが必要であると思いました。

二つ目は、他の事業所の方々と知り合い、たくさんの情報交換が出来たことです。

講演の間の休憩時間にパンフレットを交換し合い、色々な話を聞かせてもらいました。特に「こんなことやってみよう」と感じたことが、利用者と一緒に電車やバス等の公共交通機関を利用して旅に出て、様々なものを感じてほしいということです。私のやりたいことが一つ増えました。

三つ目はグループ討議です。

諸先輩方の講演をふまえた上で「あなたが目指す支援者像」についての討議がなされましたが、参加された皆さんそれぞれの意見や考えが出され、同じ講演を聞いても、人それぞれ受け

止め方や感じ方の違いがあることを改めて理解しました。また全体発表で他のグループの意見も聞き、私たちのグループでは出されなかった内容もありました。このグループ討議を通して、改めて私の目指す「社会福祉の従事者、支援者」になる為には何をどのようにしたらよいのか、何が大切に必要なのか、おぼろげながら見えたような気がしました。

最後になりますが、今回の研修を企画運営して頂きました県の知的障害者福祉協会の皆様、講話をいただきました諸先輩の皆様、共に参加できた皆さんに感謝いたします。「ありがとうございました」

豊岡光生園 生活支援員 大谷 和輝

『理想の支援をめざして』

私は、県協会主催新任職員研修に参加し様々な視点から理想の支援とはどういうものなのか、どうしたら理想の支援者になることが出来るのかを学ぶことができた。

「仕事の基本」支援者に求められること、「福祉サービスの特徴として「無形性」「生産と消費の同時性」「削減性」があり、形として残すことができないが、一度サービスを提供すると、やり直しがきかず、支援サービスをなかつたことにはできないという特徴がある。「形に残らない」「評価しづらい」という特徴が支援のマンネリ化を引き起こす大きな要因の一つであり、そのことが「プロ意識の欠如」へと繋がっていく。それを防ぐために、利用者のニーズベースの個別支援計画の確実な遂行、「障害特性の理解に基づいた支援」、アセスメント力

の向上、自責的に働くこと、福祉制度や法律の変化について常に学ぶ姿勢が重要であると言える。マンネリ化しがちな業務の中でもそうならないための努力はいくらでもできるのだと日々の自分の業務に対する姿勢を反省することができた。

「先輩職員から学ぶ」では、「自分の大変さを自分で訴えられないのが最大の障害である」という言葉が最も心に残った。私達は自分の言葉で物事を伝える事ができ、他者とコミュニケーションをとることで喜びや悲しみを共有し、時には日々の愚痴をこぼすことでストレスを解消している。しかし、私達が当たり前にできていることが障害をもっている方々にはできない。そのため、自分で抱えることが多くあるだろう。他者や物に対する攻撃的な行動も「自分の大変さをその人なりの表現として訴えているのだ」と推察できる。どうしてそのようなことをしてしまうのか、本当は何を言いたいのか、その人の気持ちに寄り添い、一緒に考え、一人一人の思いに添えていくことが私達の仕事なのだと感じた。

「知的障害のある方への支援」新任職員的心構えと実践」では障害者権利条約の重要性を知ることができた。講演は障害を持つ方々の「権利」「虐待防止」「意思決定支援」に焦点を当てたものであり、利用者の方が日々の生活のなかで条約に示された権利を実現することが支援者の役割であり、理想の支援を行うには、日々の業務に取り組みだけでなく、条約や法律などの勉強も必要なのだと強く感じた。

2日間の研修を受けて、「理想の支援とは何なのか」を考え、自分自身全くできていなかったことに気づいた。私は入職2年目だが、時にはこの仕事を続けて良いのだろうか、と悩むこともある。しかし、研修で得た「理想の支援者像」に一步でも近づけるよう日々精進を重ねていきたい。

佐原聖家族園 支援員 新井 璃世

支援スタッフ部会活動報告

●印旛山武ブロック長就任挨拶

—— 特色を活かして ——

今年度より、印旛山武ブロックのブロック長を務めさせて頂く事となりました、社会福祉法人清郷会十倉厚生園の諸澤です。印旛山武ブロックの特色でもあるブロック内1日体験研修を引き続き行い、ブロック内での「横の繋がり」がより強くなる様、多くの現場職員さんやスタッフさんに他事業所の方と関わる機会を提供出来ればと思っております。すべてにおいて初めての事なので、皆さんにご迷惑を掛ける事もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

社会福祉法人 清郷会 十倉厚生園
支援課主任 諸澤 尚美

●東葛南ブロック長就任挨拶

—— ブロック長就任、様々な活動準備 ——

初めまして、きらりあの就労継続支援B型事業で支援員をしています。就Bに異動してから9年目を迎え、受注作業やクリーニングなどを通して利用者支援をしています。就Bに異動する前は当施設内のデイサービスセンター（今は生活介護）で主に生活支援を行い、それ以前は市川市内の更生施設や地域福祉作業所に勤務しました。趣味の一つは読書、石田衣良さんや東野圭吾さんは欠かせません。他にアウトドアが好きで、最近旭市で米を作っています。

今年度ブロック長になり、スタッフ部会の皆様に色々なことを聞きながら、活動準備を行っています。今号が出る頃は、施設見学会（きら

りあ）を終え、一段落つきたいなと。その後は、秋にフットサル大会、年末に東葛北ブロックとの合同研修、年度末にバスケットボール大会を企画中です。

昨年度の活動を引き継ぎながら、代表者会議や運営委員会などを通して、スタッフ間の関係がより良くなるための一助を担えるように頑張ります。

社会福祉法人 敬心福祉会
浦安市障がい者福祉センター きらりあ
副主任 平野 篤

●香取海匝ブロック長就任挨拶

—— 仲間意識を大切に ——

この度、香取海匝ブロックのブロック長を務めさせて頂いたきます、社会福祉法人楨の実会障害者ヘルパーステーションかいとの仲間と申します。前任のブロック長の運営をふまえて、支援員間の親睦（フットサル大会、ボーリング大会等）や情報交換（施設見学会、研修会等）ができるようにしていきたいと考えております。今年度の香取海匝ブロックの目標として支援技術向上の研修会や他施設を見学することで見識を深めることも大切ですが、支援者同士、同じようなことでお互い困っている事を共有し、仲間意識を持ち、楽しい時間を過ごせるような会にできればと考えています。ブロック長としても人間としても、まだまだ未熟ですが精一杯努めていきますので、ご指導よろしくお願いいたします。

社会福祉法人 楨の実会
障害者ヘルパーステーションかいと
サービス提供責任者 仲川 要

第45回 手をつなぐ作品展

北部地区

4月14日(土)と15日(日)、イオンモール八千代緑が丘にて、第45回北部地区手をつなぐ作品展が開催されました。



イオンモール八千代緑が丘にて

参加は13施設で、食品をはじめ木工、陶芸、花、アークセサリー等の作品が会場に並べられると沢山のお客様が会場に詰めかけ、賑やかな雰囲気となりました。来て頂いたお客様からは、「利用者の方々」が作成に関わ

った商品に感銘を受けた」「色々な製品があるのね」等の感想を聞く事が出来ました。

今回、参加施設毎に小物の商品を販売するにあたり、棚とワゴンのどちらかを選択して頂き、それぞれの作品を置くスペースを分ける試みを行いました。参加施設により、お客様から作品が見やすい配置、棚を綺麗に飾り付ける等、棚やワゴンを工夫して使用していました。売り上げは、2日間の合計で約100万円を超えました。

最後に、イオンモール八千代緑が丘様をはじめ作品展開催に向け準備段階からご協力頂きました皆様にご心より御礼申し上げます。

北部地区幹事施設 大久保学園 新井 弘輝

新事業所紹介

放課後等デイサービス
児童デイサービス そらり

「生きる力を身に付ける」を目指して

特定非営利活動法人 みのり福祉会で3つ目の児童の事業所として、平成30年4月に他法人から引継ぎ、運営を開始致しました。

当法人は平成21年2月に設立されてから、9年間で、児童の事業所を3つ、就労関係の事業所を2つ、グループホームを3つ（その他にサテライト型が2つ）、相談支援事業所と、子どもから大人まで一生を通して支援することを目指し運営してまいりました。

今年度、報酬改定が行われる中で、児童の事業所を増やすことが得策とは言えない現状ですが、利用して下さる方がいらつしやる限り、そのご希望に応じていくため、日々、職員一同取り組みを続けております。

「生きる力を身に付ける」を支援方針とし、「協調性」「あいさつ」「公共交通機関の利用」「金銭の使い方」「生活する力（家事力）」「作る力（調理）」の6つの支援を柱として活動しております。目指すは高等部卒業後に、それぞれの方が望む自立の形を叶えられることです。

その一つの支援として、「作る力（調理）」があげられます。例えばお好み焼きを作るにしても、調理の工程を振り分けて活動するのではなく、自分の食べる分を材料の準備から始め、調理の全ての工程を1人で行えるように支援します。このような経験をくり返すことで、生活に必要な力を身に付けられるよう日々を過ごしております。



日々の活動



みのり福祉会マーク

現在、放課後等デイサービスには、荒波が押し寄せていますが、サービスを必要として下さる方がいらつしやる以上、その波に負けることなく、地域に根差した活動を職員一同協力しながら行っていききたいと思っております。

管理者 伊藤 郁

社会福祉法人 菜の花会
ネクスト名木小

「新たな時を刻み始めた小学校の時計」

平成27年に成田市より空校舎利用についてお話がありました。法人本部に近く、校舎の利用にあたっては地元住民の方から「菜の花会に利用してもらおうのが一番」とのありがたい後押しがあり、平成28年7月1日に生活介護事業定員20名及び放課後等デイサービス事業10名の多機能型事業所として開設いたしました。

日中活動においては、部品組み立ての受注作業を中心に行う「手仕事科」とリハビリを中心に行う「ひだまり」の二つのグループに編成し活動しています。利用される方には自閉症の方



ネクスト名木小・外観



日中活動

が多く、活動する教室内に個別のスペースを作りそれぞれが安心して活動できるように構造化を行い、個別に合わせた活動、生活を送れるようにしています。

また、教室の一部や体育館などは地域の方に開放し、高齢の方の健康体操教室や地域のバレーボール大会、地域社会福祉協議会主催のイベントの開催などにも利用して頂いているほか、買い物困難者への無料買い物バスを毎週運行しています。

閉校によって止っていた名木小学校の時計の針は、新しい福祉という次のステージで、また時を刻み始めました。かつて地元の皆さんに愛された小学校が、再び地域の皆さんの集う、「ネクスト」（次の）名木小の姿となるよう活動していきたいと思っております。

施設長 前田 潤悦

支援スタッフ
から見た!

わが施設の自慢・アピールポイント②7

平成20年度から26回にわたり73の“プチ自慢”をご紹介してきましたこのコーナー。今回は2つの“プチ自慢”です!

東葛ブロック WITH US多機能型事業所

利用者の「働きがい」を全力で支援します

WITH US多機能型事業所は、開所して5年目を迎えました。生活介護事業、就労継続支援B型事業、就労移行事業を行っています。

多様なニーズや一人ひとりの「働きたい」という思いに応えられるよう、事業所間で連携を密に取りながら支援を行っています。今夏からは地産の果物ジャムを、モラージュ柏店内の福祉ショップ「コーナー☆ぶらっと」で販売予定です。是非ご賞味ください。

就労移行事業では、姉妹事業所のbeingroom就労移行とも連携し、体験できる業務を豊富にご用意しています。パソコンを使った一般事務や手先を使った軽作業はもちろん、希



外観



パソコンを使った体験業務

望される方には、清掃や販売、接客、調理、保育、農作業など多様な作業種を体験していただいています。ご興味のある方は是非お気軽にお越しください。

サービス管理責任者 松田 和章

香取・海匝ブロック のさか学園

今年創立50周年を迎えさらにより良いサービスの提供

のさか学園は県北東部、匝瑳市の海岸近くにある障害者支援施設です。夜になると波の音や蛙の音が聞こえるのかな所です。そんな野栄福祉会ですが今年創立50周年を迎え6月に記念式典が盛大に行われました。多くの皆様にご臨席頂き誠にありがとうございました。

のさか学園では、ご利用者様、保護者の皆様、スタッフでの記念行事を開催し50周年のお祝いをいたしました。イベントの目玉はマグロの解体ショー。50kgのマグロが職人の華麗な手さばきにより大トロ、中トロ、赤身などに切り分けられそのまま鉄火丼として皆様にふるまわれ大変な盛況ぶりでした。

現在のさか学園本園舎は改修より27年経過し、老朽化による住環境改善のニーズが高まって来たことから、一昨年より園



施設内風景



50周年記念行事マグロ解体ショー

舎改修計画を実施しています。昨年4月には20名の女性寮も増設し、より快適な環境で過ごして頂ける様になりました。

50年の節目を迎えこれからもより良いサービスを提供出来る様努力してまいりますので今後とも、ご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

主任 松本 誠

陸上

男子800m青年…米澤 諒(ダイバシテイ)、
岸田悠弥(ダイバシテイ)

平成30年度千葉県障害者スポーツ大会が、5月27日の千葉県総合スポーツセンター陸上競技場での総合開会式を皮切りに知的障害関係では陸上競技、水泳、卓球、ボウリング、の4競技によって開催されました。
本大会は、10月に開催される「全国障害者スポーツ大会 福井しあわせ元気大会」への千葉県代表選手選考も兼ねており、各競技とも県代表を目指して熱い戦いが繰り広げられ、知的障害関係では、以下の選手が大会記録を更新しました。



森田知事を迎え選手宣誓



陸上競技

千葉県障害者スポーツ大会開催

スポーツ文化委員会

成田市のぞみの園 千葉 健彦

千葉知協
トピックス



熱戦を繰り広げる水泳競技

男子50m自由形青年…八重樫 準(市川市)
 男子50m背泳ぎ少年…上村 温(我孫子中学校)
 男子50m背泳ぎ青年…成嶋祥弥(柏市)、原田佳昂(我孫子市)
 男子50m平泳ぎ壮年…西沢 亮(松戸市)
 男子50mバタフライ青年…八重樫 準(市川市)
 女子25m背泳ぎ壮年…石渡 美紀子(袖ヶ浦市)
 女子50m背泳ぎ壮年…石渡 美紀子(袖ヶ浦市)
 女子50m平泳ぎ壮年…鈴木千絵子(市川市)
 女子50mバタフライ青年…中野佐紀(いんば学舎)、今井彩音(船橋市)

女子走高跳共通…鶴見蘭佳(香取特別支援学校)
 女子ソフトボール投少年…宮崎明美(安房特別支援学校)
 男女混合400mリレー…one's(原野史菜、折原巧真、中村 生、倉本 翼)、ダイバシテイ(鈴木裕貴、岸田悠弥、眞次駿英、青木大地)

【水泳】

男子25m背泳ぎ青年…成嶋祥弥(柏市)
 男子25m背泳ぎ壮年…戸塚健一郎(市川市)
 男子25mバタフライ少年…渡部雅信(流山高等学園)

男女混合200mリレー…流山高等学園(蘭部智佳、渡部雅信、平山雄太、梁田瑛己)

【ボウリング】

少年男子…並木 識(茂原市)
 青年男子…安藤雅和(SON・千葉)
 壮年男子…菊池孝治(NPOリーブ)
 青年女子…菅原由香(SON・千葉)、友田彩花(君津市)

「福井しあわせ元気大会」千葉県代表選手決定

10月13日から15日まで福井県で開催される第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」の千葉県代表派遣選手が発表されました。千葉県知的障害関係選手枠は個人競技29名と厳しい選考となりましたが、最強の選手団が選考され今年も千葉県選手団の大きな活躍が期待されます。

知的障害関係の派遣選手は以下のとおりです。

【陸上男子】

岡田秀幸(市川大野高等学園)、永山壱成(湖北特別支援学校)、久保田 剛(富里福葉苑)
 中村 生、佐志 翼、青木聖真、小宮山昇吾(以上、one's)、米澤 諒、岸田悠弥(以上、Diversity A.C.千葉)

【陸上女子】

鈴木裕貴(Diversity A.C.千葉)、原野史菜(one's)、川下 葵(安房特別支援学校)、三浦蘭佳(香取特別支援学校)、山本京子(ひかり学園)、作田晴江(富里福葉苑)

【水泳男子】

渡部雅信(流山高等学園)

【水泳女子】

安藤 涉(印旛特支さくら分校)、鈴木千絵子(市川市)

【卓球男子】

平川碧輝(柏市立逆井中学校)、古川陵太(流山高等学園)、田中 諒(SON・千葉)

【卓球女子】

松長美代(蛭雪学園)

【ボウリング男子】

廣瀬春輝(SON・千葉)、安藤雅和(SON・千葉)、菊池孝治(NPOリーブ)

【フライングディスク男子】

西城師(富里福葉苑)、田中秀治(ふる里学舎)

【フライングディスク女子】

勝股美和(八日市場学園)、赤地美和子(富里福葉苑)

事務局便り

事務局長 千日 清

酷暑とあわせて忙しく進む日程
 甲子園さながらの関東野球大会も
 全国大会へつながる千葉県の健闘が光ります
 今年は長い夏、ご自愛ください。

編集後記

くすのき苑 秋山 直樹

今年の夏もまた暑いよう。今年も暑かった。数か月後、たくさんの思い出を笑顔で語れる夏にしたい。